3　基本施策と個別の取組

基本方向1

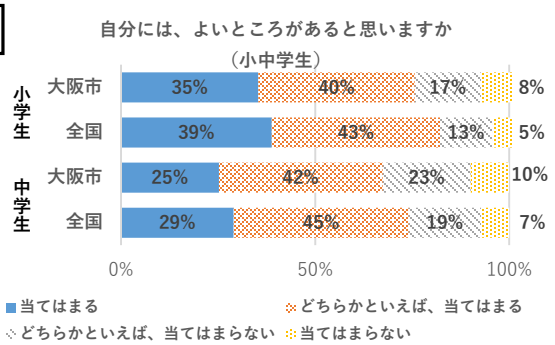
こども・青少年の「生きる力」を育成します

次代の大阪を担うこどもや青少年が、夢や希望をもって未来を切り拓き、いきいきと自立して生きることができる力をはぐくみます。

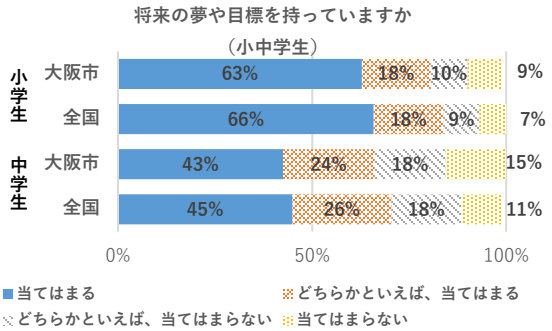
現状と課題

- 大阪のまちが有する強みを最大限に生かし、次代を担うこどもや青少年の人権が尊重され、安全で安心な環境の中で心身ともに健やかに成長し、自立して生きていける社会を実現していく必要があります。

- 大阪市のこどもや青少年は、「自分にはよいところがあると思う」と答える割合が低い傾向がみられます。また、「将来の夢や目標を持っている」と答える割合も低い傾向がみられます。こどもや青少年が、自分に自信をもち、互いに尊重しながらともに育ちあう中で、夢や希望をもって、自らの個性と創造性を発揮しながら未来を切り拓き、社会の一員としていきいきと自立して生きる力をはぐくんでいきます。



資料／平成31年度全国学力・学習状況調査



資料／平成31年度全国学力・学習状況調査

めざすべき目標像

- ■　すべてのこどもたちが健やかに成長し、自立した個人として自己を確立し、他者とともに次代の社会を担う。
- ■　こどもや青少年が、夢や目標を持って社会とかかわり、持てる能力を発揮していきいきと自立して生きる。

はぐくみ指標

指標項目	現状値	目標（令和６年度）
「自分にはよいところがある」と思うこどもの割合	小学生　74.7% 中学生　67.4% ＜注１＞	小学生　80% 中学生　80%
「将来の夢や目標を持っている」と答えるこどもの割合	小学生　80.5% 中学生　66.1% ＜注１＞	小学生　85% 中学生　85%
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答するこどもの割合	小学生　69.5% 中学生　61.5% ＜注１＞	小学生　74% 中学生　74%

＜注１＞平成31年度全国学力・学習状況調査

【基本施策１】こども・青少年が自立して生きる力の育成

施策1 乳幼児期から生きる力の基礎を着実に育成します

■主な取組

〔重点施策１〕乳幼児期の教育・保育の質の確保と向上

〇就学前教育カリキュラムの普及と活用

〇保育所・幼稚園・認定こども園と小学校との連携・接続推進

施策2 こども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組を充実します

■主な取組

〔重点施策２〕学力の向上

〇大阪市小学校学力経年調査、大阪市中学校統一テスト、大阪市版チャレンジテストplusの実施及び結果の分析

〇「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の推進

施策3 社会で共に生きていく力を育成します

■主な取組

〔重点施策３〕道徳心・社会性の育成

〇道徳教育の推進

〇キャリア教育の充実

〇特別支援教育の充実

施策4 健康や体力を保持増進する力を育成します

■主な取組

〔重点施策４〕健康や体力の保持増進

〇こどもの体力向上支援

〇部活動の改革

〇学校における食育の推進

施策5 成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会を充実します

■主な取組

〔重点施策５〕成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会の充実

〇こども 夢・創造プロジェクト事業

〇塾代助成事業

〇児童いきいき放課後事業

〇留守家庭児童対策事業

施策6 家庭・学校・地域の連携により教育環境を充実します

■主な取組

〇保護者や地域住民に開かれた学校園の運営

〇開かれた学校運営と教育コミュニティづくりの推進

〇家庭教育や子育ての情報提供や学習支援

施策7 勤労観・職業観を醸成し、社会的・経済的自立を支援します

■主な取組

〇進路指導の充実

〇若者自立支援事業

〇しごと情報ひろば総合就労サポート事業

施策8 地域における多様な担い手を育成します

■主な取組

〇地域活動協議会

〇民生委員・児童委員・主任児童委員

〇青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進

〇子ども会活動の推進

基本方向2

安心してこどもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

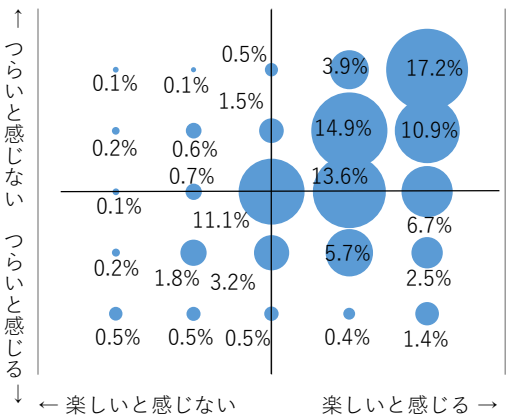
自分にあったライフスタイルで、安心と楽しさを感じながら、こどもを生み、育てることができるよう、子育て支援の仕組みや環境を充実します。

現状と課題

- 核家族化など世帯規模が縮小し、地域のつながりが希薄化する中で、子育てに何らかの不安感や負担感を抱く保護者が増えています。すべての子育て家庭が、安心と楽しさを実感しながら、こどもを生み、育てられるように、子育て家庭のさまざまなニーズにきめ細かく対応する支援の仕組みを、より身近な地域で充実していく必要があります。

- 大阪市では、保育所の待機児童の解消をはじめ、保育サービスの充実等に精力的に取り組んできたところです。就業を希望する人が働き続けながら出産や子育てができる環境づくりを一層充実し、こどもを生み、育てるすべての人が多様な生き方や働き方を選択できる社会を実現していく必要があります。

子育てについて感じること（就学前児童）



資料／平成30年大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査

めざすべき目標像

- ■ 妊産婦や乳幼児と保護者の健康や生命を守る安心な環境が整っている。
- ■ 各家庭の状況に応じた個別支援の仕組みが整っている。
- ■ 多様な働き方や生き方を選択できる社会的な仕組みが整い、希望する人が働き続けながらこどもを生み、育てることができる。

はぐくみ指標

指標項目	現状値	目標（令和６年度）
子育てについて「楽しいと感じることの方が多い」と答える保護者の割合	就学前児童 77.5% 就学児童 73.9% ＜注１＞	就学前児童 80% 就学児童 80%
「子育てや教育について、気軽に相談できるところがある」と答える保護者の割合	就学前児童 88.0% 就学児童 90.2% ＜注１＞	就学前児童 94% 就学児童 94%
母子家庭の就業者のうち正社員・正職員の割合	42.4% ＜注２＞	46.1%

＜注１＞平成30年度大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査
＜注２＞平成30年度大阪市調べ

【基本施策１】安心してこどもを生むことができる仕組みの充実

施策１ 妊娠中や出産時期のこどもと親の健康を守る仕組み等を充実します

■主な取組

〔重点施策６〕妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実

〇妊婦健康診査

〇産後ケア事業

〇乳児家庭全戸訪問事業

施策２ 思春期のこどもの健康を守る取組を充実します

■主な取組

〇健全母性育成事業

【基本施策２】身近な地域における子育て家庭への支援の充実

施策１ こどもの健康や安全を守る仕組みを充実します

■主な取組

〇３か月児・１歳６か月児・３歳児健康診査

〇こども医療費助成制度

施策２ 子育て不安を軽減し安心して子育てできる取組を充実します

■主な取組

〇区保健福祉センターにおける相談の充実

〇一時預かり事業

【基本施策３】家庭の状況に応じた子育て支援の充実

施策１ ひとり親家庭への支援を充実します

■主な取組

〔重点施策７〕ひとり親家庭への支援の充実

〇ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業

〇養育費確保のトータルサポート事業

〇ひとり親家庭サポーター事業

施策２ 障がいのあるこどもと家庭への支援を充実します

■主な取組

〔重点施策８〕障がいのあるこどもと家庭への支援

〇重症心身障がい児（者）への支援

〇障がい児保育事業

施策３ 長期にわたり療養を必要とするこどもと家庭への支援を充実します

■主な取組

〇小児慢性特定疾病児等にかかる相談事業

施策４ 外国にルーツを持つこどもと家庭への支援を充実します

■主な取組

〇子育て支援施設や児童福祉施設における支援

【基本施策４】多様なライフスタイルで子育てできる保育サービス等の充実

施策１ 仕事と出産・子育てを共に選択できる保育サービス等を充実します

■主な取組

〔重点施策９〕待機児童を含む利用保留児童の解消

〇保育所等の整備

〇保育人材の確保対策

〇子育て支援員研修

施策２ 保育サービスの質を向上します

■主な取組

〔重点施策10〕安心・安全な保育の提供

〇保育所等の事故防止の取組強化事業

〇保育サービス第三者評価事業

【基本施策５】こどもや子育て家庭が快適で安全・安心に暮らせるまちづくり

施策１ こどもや子育て家庭にとって快適で安全・安心な生活環境を整備します

■主な取組

〇新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度

基本方向3

こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

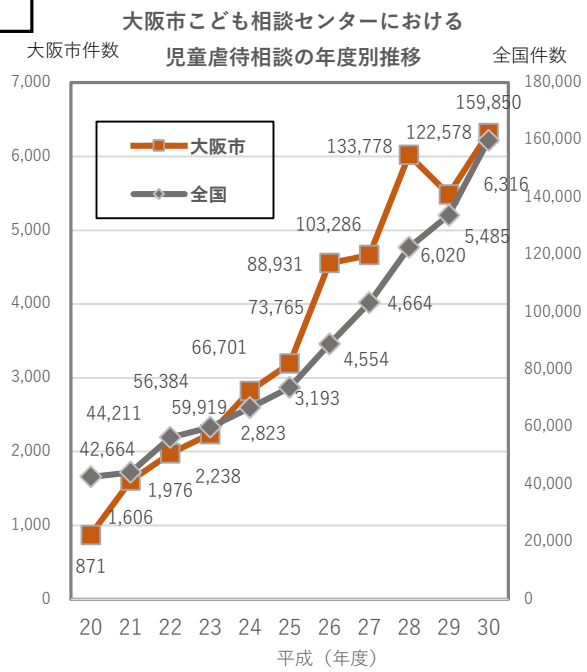
すべてのこどもや青少年が安全・安心な環境で育ち、社会の一員として自立できるよう、こどもや青少年、子育て家庭が抱えるさまざまな不安や課題に柔軟かつ着実に解決を図る仕組みを確立します。

現状と課題

- 全国的に児童相談所に寄せられる児童虐待に関する相談件数は増加の一途をたどっています。児童虐待の発生を予防することが大切であるとともに、発生した課題を可能な限り早期に発見し、個々の状況に応じて適切に支援していくことが重要です。

- 虐待をはじめとするさまざまな理由により家庭において適切な養育を受けることができないこどもの数は1,300人台で推移しており、抱える背景は多様化しています。家庭の養育環境の改善への支援はもとより、地域社会において家庭の機能を補いながら、こどもの養育を支える社会的養護体制を充実していく必要があります。

- こどもや青少年をめぐる昨今の状況は、いじめ、不登校、ひきこもり、非行、少年犯罪など、さまざまな問題が発生し、深刻な社会問題となっています。



（注）平成29年度の虐待相談件数の減少は、厚生労働省に件数計上の基準について改めて確認し、その基準の解釈に合わせたためである。

めざすべき目標像

■ 重大な児童虐待をはじめあらゆるこどもへの虐待を防ぐため、児童虐待の発生予防、早期発見・対応の仕組みや虐待を受けたこどもとその家庭を支える社会的な仕組みが整っている。

■ こどもや青少年を守る社会的な仕組みが整い、こどもや青少年がさまざまな困難を乗り越え、社会の中で自立して生きていける。

はぐくみ指標

指標項目	現状値	目標（令和６年度）
「子育てが地域の人（もしくは社会で）支えられてる」と感じる保護者の割合	就学前児童 65.6％ 就学児童 69.9％ ＜注１＞	就学前児童 70％ 就学児童 70％
「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまう」と答える保護者の割合	就学前児童 36.3％ 就学児童 28.4％ ＜注１＞	就学前児童 20％ 就学児童 20％
社会的養育を必要とするこどもが家庭的な養育環境で生活できている割合（里親、ファミリーホーム、地域小規模児童養護施設、小規模グループケア）	33.1％ ＜注２＞	83.3％

＜注１＞平成30年度大阪市こども・子育て支援に関するニーズ調査
＜注２＞平成30年度大阪市調べ

【基本施策１】虐待の被害からこども・青少年を守る仕組みの充実

施策1 児童虐待の発生を予防し、早期に発見し、対応する仕組みを充実します

■主な取組

〔重点施策11〕児童虐待の発生を予防し、早期に発見、対応できる仕組みづくり

〇児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン

〇子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業

〇未就園児等全戸訪問事業

〇児童虐待ホットライン等の虐待通告・安全確認事業

施策2 虐待を受けたこども・青少年への支援の仕組みを充実します

■主な取組

〇家族再統合支援事業

【基本施策２】社会的養育を必要とするこども・青少年の養育環境の充実

施策1 里親・ファミリーホームへの委託等を推進します

■主な取組

〔重点施策12〕里親・ファミリーホームへの委託等の家庭的な養育の推進

〇里親子への一貫した支援体制の構築・里親委託推進事業

〇小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）

〇児童福祉施設の小規模化

施策2 こどもの権利擁護の取組を推進します

■主な取組

〇児童養護施設等職員に対する研修

〇被措置児童等虐待予防への取組

施策3 家庭支援及びこども・青少年の自立支援の仕組みを充実します

■主な取組

〇児童家庭支援センターの機能充実

〇要保護児童対策地域協議会の機能強化

〇児童自立生活援助事業

【基本施策３】こどもや青少年が抱える課題を解決する仕組みの充実

施策1 こどもの貧困対策を推進します

■主な取組

〔重点施策13〕こどもの貧困対策の推進

〇大阪市こどもサポートネット

〇こども支援ネットワーク事業

施策2 いじめや問題行動の未然防止、早期発見のための仕組みを充実します

■主な取組

〔重点施策14〕いじめへの対応

〇いじめ・問題行動に対応する制度の活用

〇スクールカウンセラー

〇スクールソーシャルワーカーの活用

施策3 不登校等の問題に適切に対応する仕組みを充実します

■主な取組

〔重点施策15〕不登校への対応

〇不登校などの課題への対応

〇教育相談事業

施策4 犯罪の被害からこども・青少年を守る取組を充実します

■主な取組

〇市職員によるあんしんパトロール事業

〇「こども110番の家」事業

施策5 社会的自立に困難を抱える若者を支援する取組を充実します

■主な取組

〔重点施策16〕若者への自立支援

〇若者自立支援事業

〇ひきこもり相談